

奈良でできたお米を食べよう！ ～奈良県産ひのひかり～

ひのひかりの事を
もっとくわしく
知りたい方は
こちらへアクセス▶



店舗

共同購入（こまどり便）

奈良ひのひかり（無洗米）
奈良ひのひかり（普通精米）

特別栽培米
奈良県産ひのひかり

食べる

奈良県産ひのひかりを
たべよう！

参加する

お米を作る

自然を育む

吉野の森と水を守るための募金

奈良県産ひのひかりを利用するだけで
吉野の森と水を守るための
募金に参加できます

ならコープが供給する「奈良県産ひのひかり」1kgにつきならコープとJAならけんがそれぞれ0.5円の積み立てを行い、奈良県森林組合連合会を通して、吉野の森と水の保全に供する活動です。

▲植樹（つくばね発電所）

さまざまな場面で
ドローンが活躍しています

吉野の森と水を守るための募金

2009年11月～2021年度の募金総額は
12,709,077円になります。

2020年度にチェーンソー、カメラを贈呈
2021年度にドローンを贈呈

募金はこんな風に
使われているよ

また、毎年、大淀町平畑植樹地の
下草刈り活動の費用として使われています

募金は、吉野の
環境保全活動や、
植樹に利用
されています

▲2022年9月8日贈呈式を行いました。

▲磯城郡・田原本町の
上田さん

▲大和郡山市の福田さん親子

**吉野の自然と地元の生産者が
大切に育んだお米です**

吉野の森に育まれた清流が
吉野川の分水を流れ大和平野へ。
その水によって、おいしいお米が作られていきます。

奈良県産ひのひかりの歴史

「ひのひかり」が奈良県の奨励品種となったのが1992年。以降ならコープでは、2004年から取り扱いを開始し、2006年に「特別栽培米奈良県産ひのひかり」が、2019年に「奈良県産ひのひかり」がならコープ産直に登録されました。組合員と生産者の交流活動も毎年行われています。

▲地産地消をすすめる会 田植体験

**「奈良県産ひのひかり」は
「食べる“なら”大和」の商品です**

ならコープは、JAならけんとともに「地産地消をすすめる会」を発足。「食べる“なら”大和」のブランドで、地産地消を広げています。「食べる“なら”大和」とは、地産地消品のブランドとして、両組合が一緒に取り組む県内農産物や、県内農産物を主な原料とした加工食品です。

受け継がれて来た**地元の味**を、未来へつなぐ
ならコープはみなさんの笑顔に寄り添います

ならコープの産直に
ついての情報はこちら▶



その他のSDGsの
取り組みはこちら▶



コープのエシカル
特集ページはこちら▶

